報道関係者各位

PRESS RELEASE

株式会社日建設計

2026年11月9日

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

【続報・開催詳細のお知らせ】
日建設計、デジタルデザイン15年間の歩みと「知のつながり」を可視化する展示
「Information × Intelligence 蓄積を、デザインの知へ 」開催

～450件以上のプロジェクトに蓄積された知識・経験から、これからのデザインの可能性を探る～

株式会社日建設計（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大松敦、以下「日建設計」）は、2026年11月16日（月）から2027年1月29日（金）まで、日建設計 東京ビル1・2階にて、デジタルデザイン展「Information × Intelligence ― 蓄積を、デザインの知へ ―」を開催いたします。

本展についてはすでに発表しておりますが、このたび開館時間や休館日などの開催概要が決定いたしましたので、改めてお知らせいたします。

開催概要

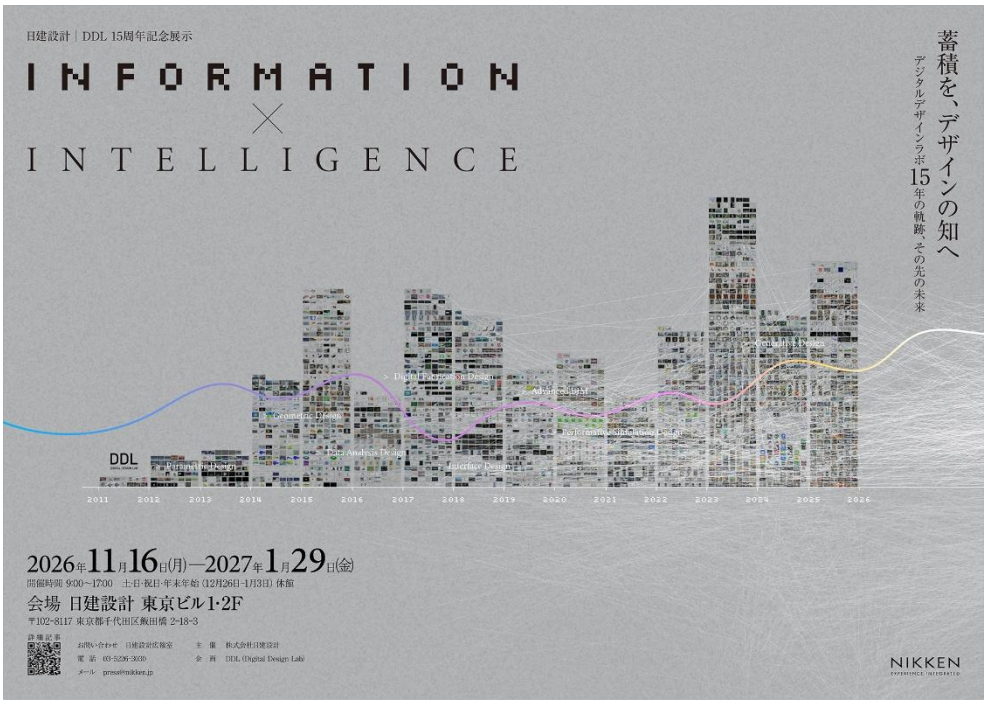
デジタルデザイン展「Information × Intelligence ― 蓄積を、デザインの知へ ―」

開催日時： 2026年11月16日（月）～2027年1月29日（金）
9:00~17:00 ※土・日・祝日・年末年始（2026年12月26日～2027年1月3日）は閉館、入場無料

会　　場：日建設計東京ビル1・2F（東京都千代田区飯田橋2 - 18 - 3）

主　　催：株式会社 日建設計

企　　画：DDL部（Digital Design Lab）



本展では、日建設計のDigital Design Lab（以下、DDL）が約15年間にわたり取り組んできたデジタルデザインの実践を振り返るとともに、450件以上のプロジェクトを通じて蓄積してきた情報・知識・経験と、その相互のつながりを可視化します。過去のプロジェクトにおける検討プロセスや研究開発事例、プロジェクト間の

関係性を示す「アトラス」などを通じて、これまでの歩みと、蓄積された知がこれからのデザインにつながる可能性を紹介します。皆様のご来場をお待ちしております。

■ 開催背景・展示コンセプト

“15年間の実践で培われた「デザインの知」を、未来につながる知的資産へ”

日建設計は2011年以降、建築・都市領域において、環境シミュレーションやデータビジュアライゼーション、自動設計、XR、インターフェース、デジタルファブリケーションなど、多様なデジタル技術を活用したデザインの実践を積み重ねてきました。こうした取り組みを通じて蓄積されてきたのは、個々の技術や成果物だけではありません。現実のデータを読み取り、意味のある情報へと変換し、設計に生かせる知識へ、さらには実践を通じた知恵へと高めていくプロセスそのものです。また、異なるプロジェクトの間でも、技術や知見、発想が相互につながり、次のデザインへと受け継がれてきました。

一方、データの量や複雑さ、分散性が増す中、人間だけでは読み解けず、十分に情報化・知識化されないまま眠っている蓄積も少なくありません。

本展「Information × Intelligence」では、約15年間にわたる情報・知識・経験の蓄積を、単なる過去の活動記録として振り返るのではなく、これからのデザインを支える新たな知的基盤として捉え直します。これまでの実践を未来への知的資産として読み直し、蓄積された知識や経験が新たなデザインへとつながる可能性と、その展望を提示します。

■ 展示内容

本展では、DDLが積み重ねてきたデジタルデザインの歩みを3つの流れで紹介します。

DDLの過去のプロジェクトと、新規業務につながる新技術の研究開発とのつながりを分析した大画面マップを展示し、身体的なインタラクションで探索可能にします。また、小径木材を効率的に建材化した擬角材の開発展示、図面を差し込むと断面の3Dモデルを見られるシステムなどを紹介します。

① これまで：15年間のデジタルデザインの実践とプロセス（1Fフロア）



1Fフロアでは、DDLがこれまで取り組んできたプロジェクトについて、完成した建築や成果物だけでなく、デザインが生まれるまでの検討過程や試行錯誤を紹介します。

過去のプロジェクトにおけるデザインのプロセスや、その過程で生まれた成果物などを展示し、デジタル技術を活用した設計の歩みを振り返ります。

② 蓄積：過去450件以上のプロジェクトに見る「知のつながり」（1Fフロア）



こちらでは、過去450件以上のプロジェクトを俯瞰し、その関係性を可視化する「アトラス」を展示します。

一見異なるプロジェクトの間にも共通する技術や知見、テーマなどが存在し、それらが相互につながりながら次のプロジェクトへと受け継がれてきました。「アトラス」を通じて、15年間にわたり蓄積されてきた知識や経験のつながりを紹介します。

③　体験型展示：デジタル技術を活用した設計プロセスを体感（2Fフロア）




2Fフロアでは、実際に手に取って動かすことのできるインタラクティブなコンテンツを展示します。1Fで紹介したデザインの実践や、そこから蓄積されてきた技術・知識がどのような形につながっているのかを、見て、触れて、体感できる展示を行います。

■　Digital Design Labについて

日建設計 テックデザイングループのDigital Design Lab（DDL）は、「想像を体験へ、体験から価値を」をミッションに、2011年に設立されました。デジタルテクノロジーによって都市・建築の設計をより高度に、より高品質にする可能性を探求し、450以上のプロジェクトに関わる実践と、そこから見えた課題を解決するR&Dを並走させてきました。活動の領域は建築にとどまらず、都市や社会環境へと越境し、情報×テクノロジーで新たな価値の創造に取り組んでいます。

■　日建設計について

日建設計は、建築・土木の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。1900年の創業以来125年にわたって、社会の要請とクライアントの皆様の様々なご要望にお応えすべく、顕在的・潜在的な社会課題に対して解決を図る「社会環境デザイン」を通じた価値創造に取り組んできました。これまで日本、中国、ASEAN、中東で様々なプロジェクトに携わり、近年はインド、欧州にも展開しています。
URL：https://www.nikken.jp/ja/

■　本件に関するお問い合わせ先

株式会社日建設計
広報室　Tel：03-5226-3030　e-mail：press@nikken.jp